

人の短を道うこと無かれ

己の長を説くことなかれ

崔 環 『座右銘』より

寺務所前の彼岸花や木々達が徐々に染まり始め、秋の訪れを感じる季節になりました。檀信徒の皆様方に置かれましては、いかがお過ごしでしょうか。今年は銀杏も実りがよく、上を見ますと大きな実がたくさんなっているのが見えます。昨年は不作の年で、新年祈禱の際、参詣されました皆様にお配りすることが叶わず、とても残念でした。本年度はその心配はなさそうですので、楽しみにしていただけたらなと思う次第であります（ページ下部写真）。

さて、秋と言いますと、皆様は何を思い浮かべるでしょう。芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、色々ありますが、私はやはり食欲の秋が真っ先に思い浮かびます。先に話しました銀杏もそうです

し、お米や秋刀魚、梨、林檎など多くの食べ物が旬の季節です。旬の食材を食べると病気になるなと言いますから、美味しい物をしっかり食べて、英気を養いましょう。

そんな食欲の秋ですが、皆様は食事の挨拶はされているでしょうか。両手を合わせて「いただきます」「ごちそうさまでした」という、誰もが子供の頃に教わった挨拶かと存じます。その食事の挨拶には様々な意味が込められています。農作物を作った方への感謝、それを調理した方への感謝、命を頂く事への感謝。こうした、食べ物



に関する感謝は日頃から感じている方も多いかと思えます。仏教には「縁起」という言葉があり、世の中のあるゆる事象は、お互いに関わり合って存在しています。何気なく食卓に並んだ食べ物には、私たちには想像がつかないほど多くの事が関係し合っており、それらは「縁」によって存在しているのです。食事の挨拶とは、そうした「縁」全てに向けられた言葉であり、それが合掌という形となって、自然と表されているのだと、私は常々思うのです。

（裏へ続く）

→ 銀杏の木（観音堂横）



(続き)

皆様もよくご存じの、両手の指を揃え合わせた合掌の事を、真言宗では虚心合掌と言います。虚心の“虚”という字には「窪んだ中にある様」という意味があります。合掌して頂きますと、手の平の中にわずかに空間が生まれます。この空間に心があるのだと、私は師匠から教わりました。心とは想いです。自分の持つ縁に対する想い、他者に感謝する想い、故人を偲ぶ想い、そうした想いが合掌には込められているのです。

凡聖不二のみ教えは

この合掌に在りと聞くと

祈れ合わせよ両の掌を

功德は廣大無辺なり

これは『合掌の功德』という御詠歌の一節です。凡聖不二とは、仏様と私達は本来等しく同じ存在であり、そこに垣根はない、という意味です。仏様は遙か遠くの手の届かない場所にいるように感じてしまいがちですが、実は一

番近く、ご自身の中にもおられるのです。右手は仏様、左手は自分を表します。合掌とは、仏様を想う心と、仏様が私達を想う心が一つとなり、まさしく「凡聖不二のみ教え」を表している姿なのです。

功德は廣大無辺なり

功德とは、善い行いによって得られるご利益であり、そこに限りはありません。善い行いには、やり過ぎということはないのです。他者への感謝の想いや仏様への想いを込めた合掌は当然善い行いです。食事の際や寺社仏閣にお参りされた際には、心を込めて合掌を試みてください。その合掌には、ご自身の想いがあり、仏様の想いがあります。両手を合わせたお姿は、そのまま仏様のお姿です。日々そうした行いを積み重ねることが、私達が仏様に近づく第一歩なのです。そうした心持ちで秋の味覚を味わっていただくと、よりいっそう美味しく感じられるかと存じます。

今回のお言葉

今月号のお言葉は、中国の文人崔瑗の著書、『座右銘(座右の銘)』に出てくる一節です。

崔瑗とは、後漢王朝時代の中国の文人で、世界で一番古い座右の銘を残した人と言われています。今回のお言葉である「人の短を道(い)う無かれ、己の長を説くことなかれ」とは、お大師様も座右の銘としていた言葉でもあります。「他人の短所を批判してはいけない。自分の長所を自慢してはいけない。」という意味です。ついつい他人と自分を比べて優劣を付けてしまいがちですが、他人の悪口や自身の自慢話は、自分の評価を下げるだけで何も生み出しません。お大師様がこの言葉を座右の銘としていたのも、他者と比較するのではなく、いつまでも自分に厳しくあろう、という気持ちをお忘れなさいだったのではないかと存じます。

年間行事

- 一月 厄除け祈願大祭
- 三月 春季彼岸会・涅槃会
- 四月 研修旅行
- (阿字の子会主催)
- 五月 春季例祭・大般若会
- 七月 高野山参拝旅行
- 八月 夏季例祭・大施餓鬼会
- 九月 秋季彼岸会
- 十二月 二年参り

お知らせ

- ・墓地分譲中
- ・傳燈館予約受付中
- ※ホームページまたはお電話にて申し込みいただけます。
- ☎：〇二六三三七七二四二五

ホームページ

下のQRコードよりサイトに移動できます。※周りに方々に広めて頂けたら幸いです。

